



大阪経済記者クラブ会員各位

記者発表資料

平成29年11月15日

## 大阪企業家ミュージアムにおけるA I デジタルサイネージ実証実験の開始について ～11月16日から1月31日まで一般公開～

〔問い合わせ先〕大阪商工会議所 経済産業部（玉川、野間）  
TEL06-6944-6300

○大阪商工会議所（大商）は、国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）人工知能研究センターの人工知能技術コンソーシアム（A I T C）の協力を得て、大商が設置・運営する大阪企業家ミュージアムにおいて、11月16日から来年1月31日まで、人工知能技術（A I）を搭載したデジタルサイネージ（A I デジタルサイネージ）を活用した実証実験を実施する。

○産総研が開発したA I デジタルサイネージに、大阪企業家ミュージアムの展示企業家に関するクイズデータを投入、来館者の回答をA I が分析し、似たタイプの企業家を推薦する。結果は、全回答者の質問と回答に関する選択傾向からA I が自動的に推薦するため、回答数が増えればA I の学習・推論機能が高まり、推薦される企業家も変化する。今回の実験では、100件以上の回答を収集し、A I の学習・推論機能の向上を実証する。



A I デジタルサイネージ  
(イメージ)

○A I を搭載した製品・サービスの開発には、ビジネス現場からA I の学習データを多量に収集することが不可欠と言われる。A I T Cには、A I に関する技術交流や情報収集に関心を持つ133社・団体（11月6日現在）が加入し、テーマ別のワーキンググループ（WG）で、実証プロジェクトの立案、試行、協業に取り組んでいる。今回の実証は、A I リビングラボWGの協力を得て実施する。大商は、昨年11月からA I T C 関西支部の事務局を担い、A I のビジネス活用、社会実証・実装を支援している。

### <実証実験の概要>

- 期 間 平成29年11月16日（木）～平成30年1月31日（水）
- 場 所 大阪企業家ミュージアム（大阪市中央区本町1-4-5大阪産業創造館地下1階）
- 実施主体 大商、A I T C
- 内 容 産総研が開発したA I デジタルサイネージに、大阪企業家ミュージアムの展示企業家に関するクイズデータを投入、来館者の回答をA I が分析し、似たタイプの企業家を推薦する。クイズは、同ミュージアムが制作した漫画「企業家の人生に学ぶ」シリーズ（江崎利一、石橋信夫、早川徳次、上山英一郎、岩谷直治、久保田権四郎、佐伯勇、鳥井信治郎の8名の企業家が登場）から出題される。

以 上

<添付資料> 資料1：大阪企業家ミュージアムにおけるA I デジタルサイネージの実証実験 概要  
資料2：人工知能技術コンソーシアム 概要

# 大阪企業家ミュージアムにおける A I デジタルサイネージの実証実験 概要

---

大阪商工会議所

人工知能技術コンソーシアム AIリビングラボWG

# 実証実験の目的

---

- ◆ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センターの人工知能技術コンソーシアムでは、AI技術の社会実装の推進に取り組んでいます。
- ◆ 同コンソーシアムのAIRビングラボWGでは、公共空間におけるAI機器の社会実装に注力しており、今回の実証実験はその第一弾として、大阪商工会議所とともに、大阪企業家ミュージアムで実施します。
- ◆ 今回の実証実験では、100件以上の回答の収集を目標としています。

# 実証実験の概要

---

- ◆ 期 間 平成29年11月16日(木)～平成30年1月31日(水)
- ◆ 場 所 大阪企業家ミュージアム  
(大阪市中央区本町1-4-5大阪産業創造館地下1階)
- ◆ 実施主体 国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)  
人工知能研究センター人工知能技術コンソーシアム  
大阪商工会議所
- ◆ 内 容 産総研が開発したAIデジタルサイネージに、大阪企業家ミュージアムの展示企業家に関するクイズデータを投入、来館者の回答をAIが分析し、似たタイプの企業家を推薦する

# 実証実験のイメージ

## ●利用シーン

来場者へ企業家のエピソードにまつわる、幾つかの質問を実施  
例〇〇が起きました、あなたならどうする？



タッチで回答



回答を分析しどの企業家タイプか推薦  
あなたはズバリ〇〇氏タイプです

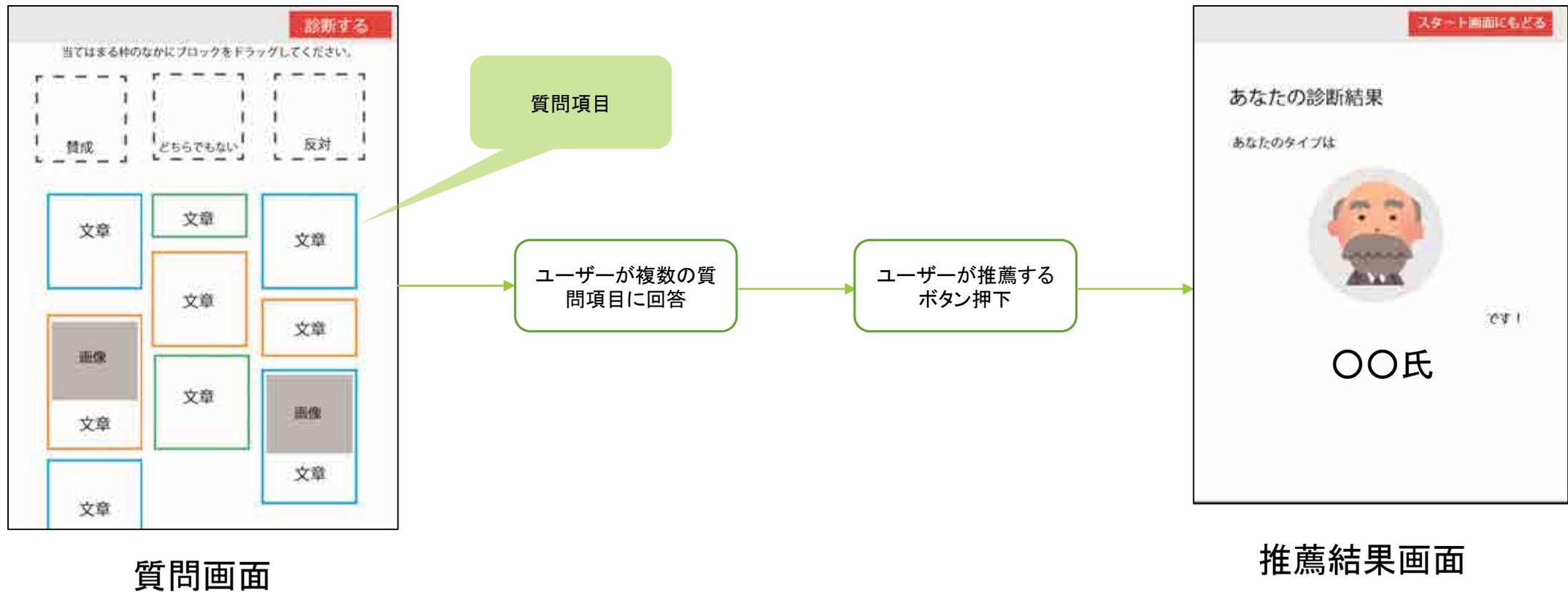


展示コンテンツへの興味とより深い理解



来場者に企業家のエピソードにまつわる幾つかの質問に答えて頂き、最後にどの企業家タイプかを推薦します。

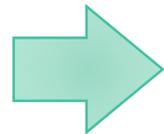
# アプリケーションのイメージ (1)



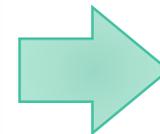
# アプリケーションのイメージ (2)



スタート画面



質問画面



推薦結果画面

# アプリケーションで使用する 企業家のデータ

---

- 本アプリケーションは以下の企業家漫画をベースに作成しています。
  - 「企業家の人生に学ぶ①江崎グリコ株式会社 創業者 江崎利一」
  - 「企業家の人生に学ぶ②大和ハウス工業株式会社 創業者 石橋信夫」
  - 「企業家の人生に学ぶ③シャープ株式会社 創業者 早川徳次」
  - 「企業家の人生に学ぶ④大日本除虫菊株式会社 創業者 上山英一郎」
  - 「企業家の人生に学ぶ⑤岩谷産業株式会社 創業者 岩谷直治」
  - 「企業家の人生に学ぶ⑥株式会社クボタ 創業者 久保田権四郎」
  - 「企業家の人生に学ぶ⑦近畿日本鉄道株式会社 佐伯勇」
  - 「企業家の人生に学ぶ⑧サントリーホールディングス株式会社 創業者 鳥井信治郎」

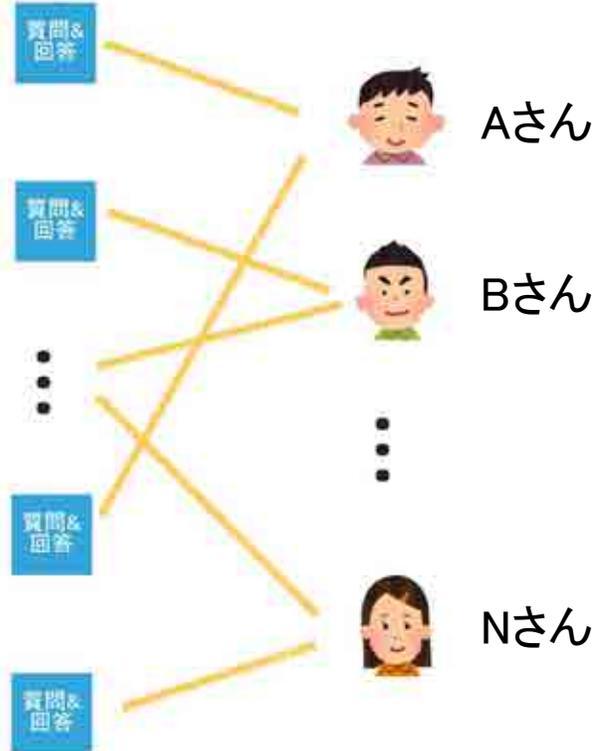
# アプリケーションの仕組み (1)

## MECHANISM

### 収集するデータ構造

各ユーザーが、どの質問と回答を選択したかを示す関連データを収集

企業家漫画に記載のQ&A「人生の選択」(改訂版)



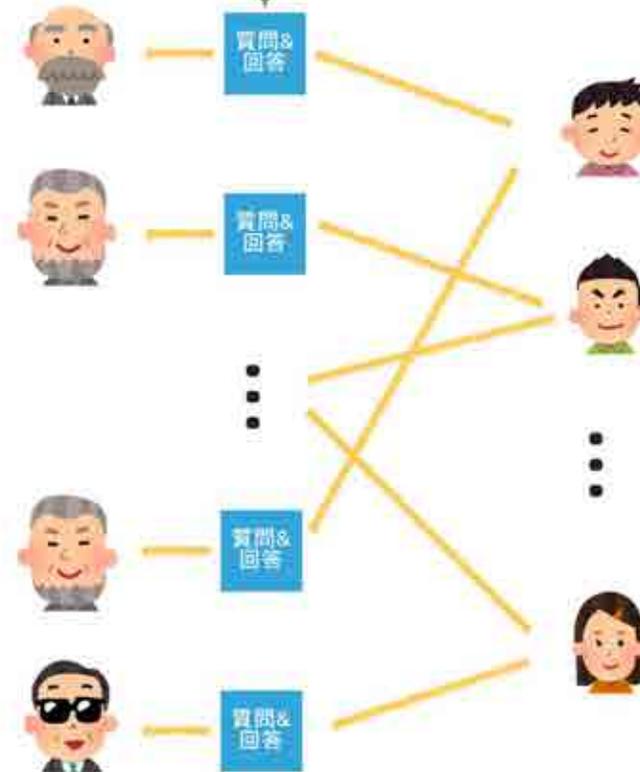
# アプリケーションの仕組み (2)

MECHANISM

企業家漫画に記載のQ&A「人生の選択」(改訂版)

収集するデータ構造

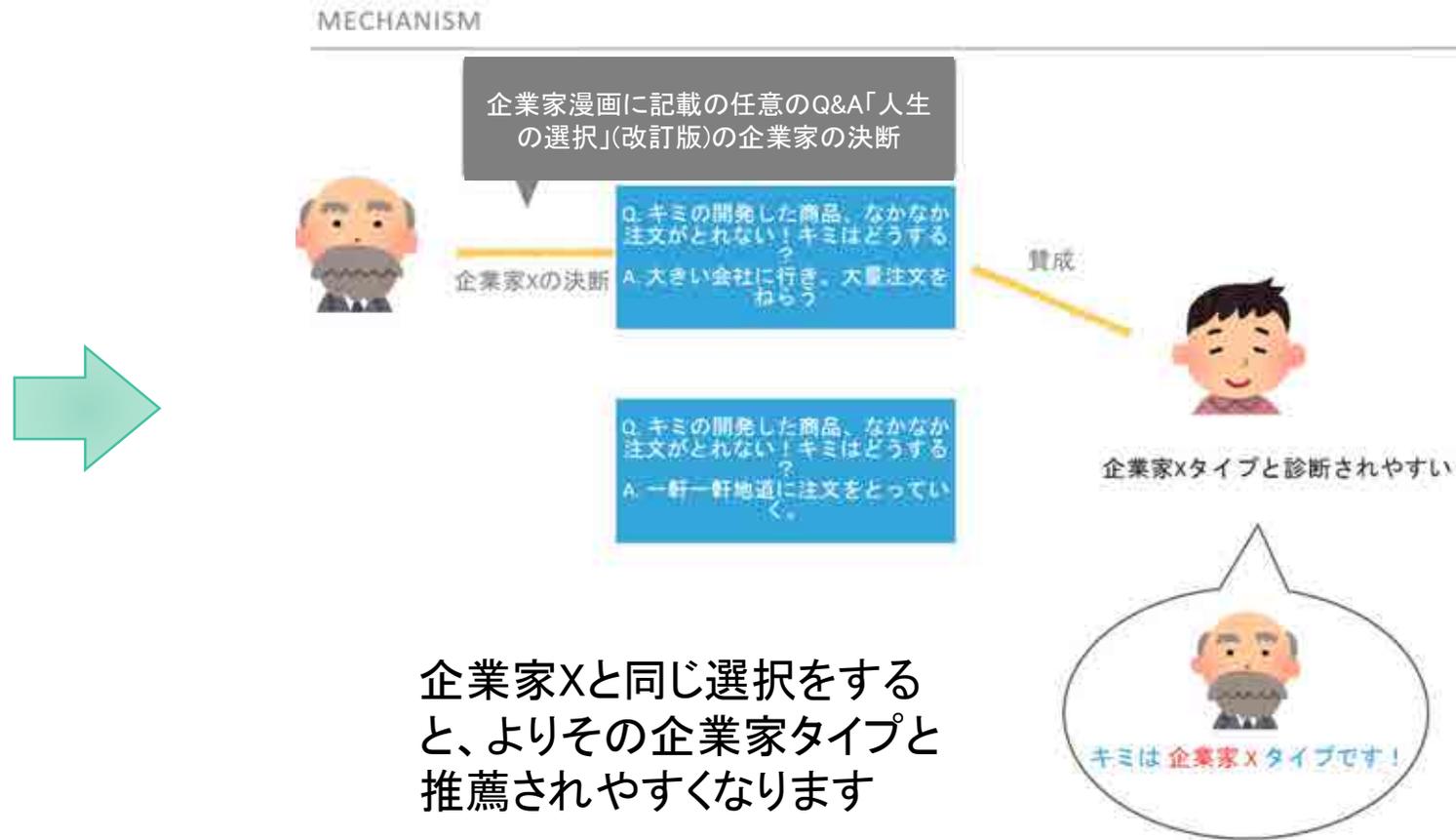
各ユーザーが、どの質問と回答を選択したかを示す関連データを収集



データからの推定

ユーザー全体の傾向から、それぞれの質問と回答に対する”企業家タイプ”を推定

# アプリケーションの仕組み (3)



# アプリケーションによる推薦結果

---

推薦結果として選ばれる「企業家タイプ」は、予め確定しているものではありません。「企業家タイプ」は、全ユーザーの質問と回答に関する選択傾向から自動的に決定されます。従って、データが蓄えられることで変化し得ます。

## 人工知能技術コンソーシアム 概要

○目的：企業・大学・研究機関の技術交流の場を提供することにより、人工知能技術に関連する情報の共通認識形成を図り、人工知能技術全般の一層の技術向上及び普及を促進することを目的に、国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)人工知能研究センターに人工知能技術コンソーシアム(AITC)を設置。

ウェブサイト <http://www.airc.aist.go.jp/consortium/>

○事業：①人工知能に関連した技術の情報交換  
②人工知能に関連した技術の情報収集と提供  
③その他本コンソーシアムの目的達成に必要な事業

○会長：本村 陽一氏（産総研 人工知能研究センター 首席研究員）

○事務局：産総研 人工知能研究センター

○設立：平成27年5月1日

○会員数：一般会員130社、特別会員6件（11月8日現在、特別会員は団体・個人を含む）

○ワーキンググループ（WG）：

具体的なテーマを設定したWGを設け、実証プロジェクトの立案、試行、協業に取り組んでいる。現在は、11WGが活動している。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ①Human Life WG | ②データ・知識融合WG |
| ③データプラットフォームWG | ④ものづくりWG    |
| ⑤AIリビングラボWG    | ⑥AIツールWG    |
| ⑦データマイニングWG    | ⑧関西支部WG     |
| ⑨九州支部WG        | ⑩ユースケースWG   |
| ⑪東海支部WG        |             |

※今回の大阪企業家ミュージアムにおけるAIデジタルサイネージ実証実験は、AIリビングラボWGと大阪商工会議所が実施する。

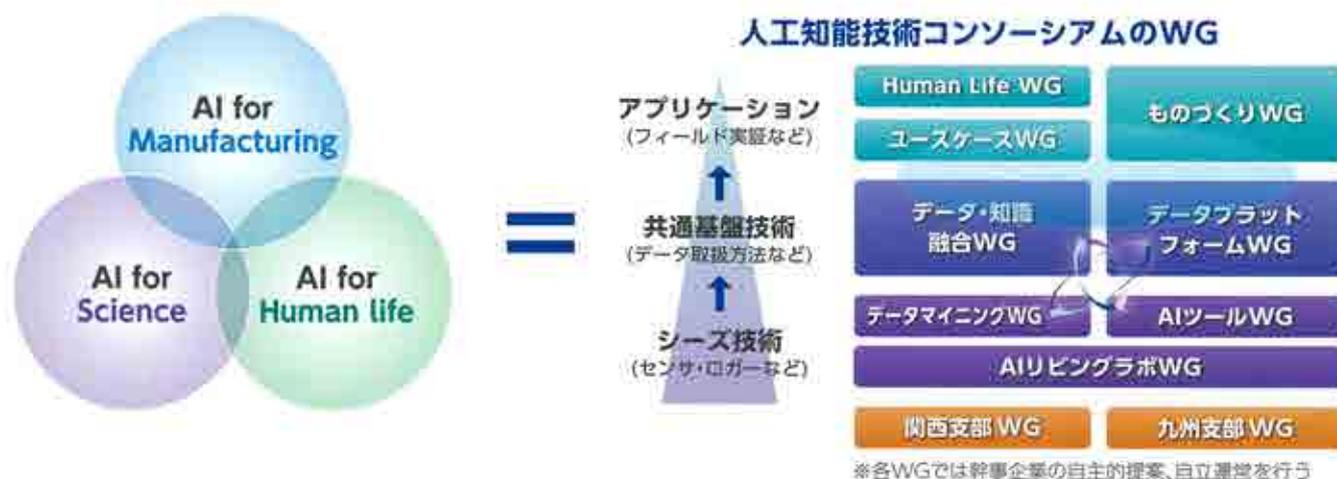
※大阪商工会議所は、AITCの会員で関西支部WGの事務局を担っている。

以上

産総研人工知能技術コンソーシアムは人工知能技術の導入・利活用・普及・発展のために、幅広い業種の企業から構成されています。異業種連携により水平統合的なデータ活用などの共創的価値創出を加速させるため、法人会員の課題や強みを共有し、ベストマッチングを模索していく場をワーキンググループとして形成しています。またデータ活用の手法・技術の勉強会を実施したり、産総研技術の最新動向を共有するなど、データ活用の知識やノウハウ、最新情報の獲得にも役立ちます。コンソーシアムの活動成果はシンポジウムなどを通じて外部発信し、社会への普及も促進していきます。

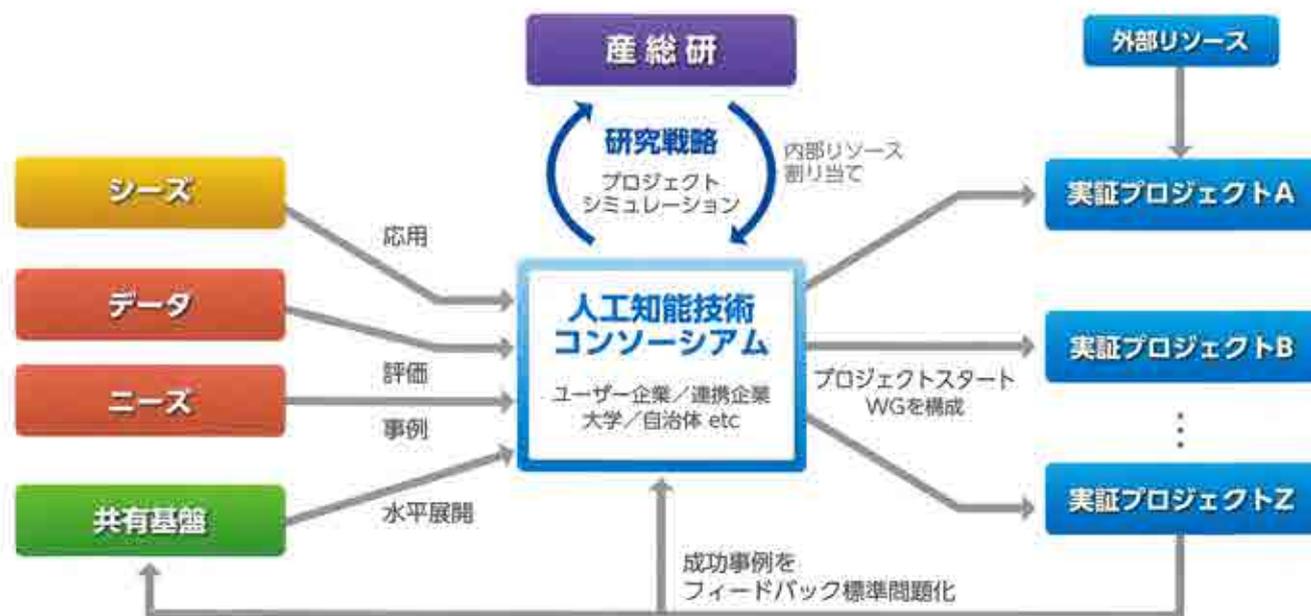
### AI技術を機敏に早期導入するための取組み

ビッグデータから学習して深化するAI技術は製造分野、科学分野、生活分野を3軸とした実フィールドでの応用とともに発展します。そのために本コンソーシアムでは、シーズ技術から共通基盤、アプリケーションにわたる多数のワーキンググループ(WG)を会員の要望にあわせて創出し、有機的な連携をはかります。



### 産総研人工知能技術コンソーシアムの進め方

シーズと、データ、ニーズをマッチングし、AI技術とビッグデータ活用を進める共有・共創・協働の実証プラットフォーム



# AI リビングラボ WG

Society5.0、スマートホーム、スマートタウンの構築に向け、店舗やイベント空間などにおける利用者行動ビッグデータの観測・分析・活用方法を企画・試行・普及を行うWG共同実験、インタラクティブアプリのデザイン、ユースケース開発なども検討

## 参加企業

- 東急エージェンシー ● 都築電気株式会社 ● 株式会社パイシンク ● 株式会社 ロジックデザイン
- ネクサート株式会社 ● サイバートラスト株式会社 ● キリン株式会社 ● 株式会社本田技術研究所
- 株式会社パソナ ● 株式会社インテック ● 大阪商工会議所 ● 産業技術総合研究所
- coco de class株式会社 ● NECソリューションイノベータ株式会社 ● マツダ株式会社

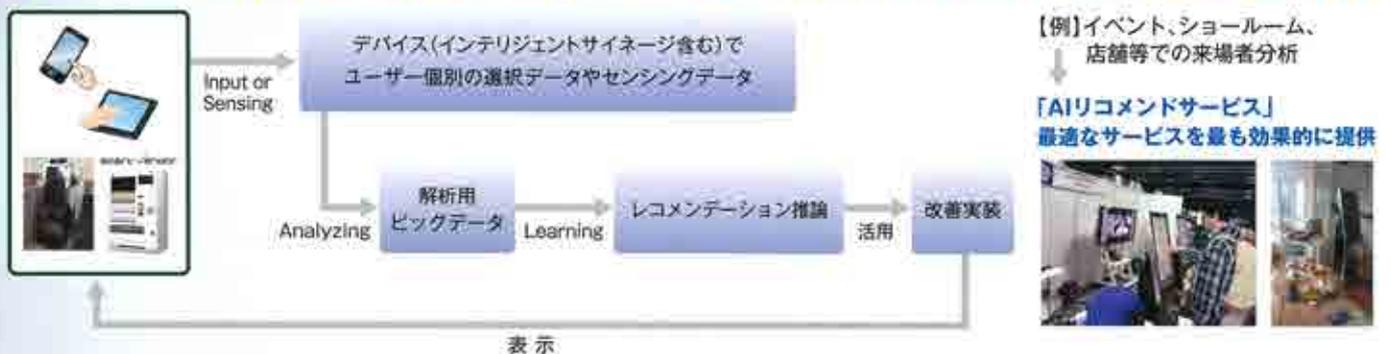
活動場所候補：産業技術総合研究所、グランフロント大阪、パソナカフェ、キリン関連施設、コープさっぽろ、科学未来館、長崎大学病院、大阪商工会議所などを予定

連携WG：ユースケースWG、AIツールWG、Human Life WG

連携先大学：東工大、慶応大、千葉大学、広島大学、兵庫県立大 など

## WG 活動例

実フィールドの環境デザイン、リサーチデザインに取り組み、未来型AIユースケースを開発、有効性について実証



## WG 活動内容・計画

- 売り場やショールーム、イベント空間などにIoTデバイス、デジタルサイネージ、次世代自販機、タブレットなどを設置し、利用者行動ビッグデータを観測・分析・活用する
- 社会実装を見据えた持続的なデータ取得・共有・分析の枠組みを構築、開発環境、ビジネスモデルとともに検討
- 既存のビッグデータと組み合わせ、データ統合・連携して複合的に活用することで付加価値向上をはかる
- 新たなデバイスと機械学習手法を組み合わせた人工知能技術の活用方法、ノウハウ、応用事例を集積

## WG 活動ステップ

### セミナー/ワークショップ

ねらい

- インテリジェントサイネージの紹介
- データ収集機能の提示
- アプリケーションの検討

### 勉強会

ねらい

- インテリジェントサイネージを活用しデータ収集事例の共有
- 仮説検討

### 実証実験

ねらい

- 実フィールドにて仮説検証
- インテリジェントサイネージの活用
- ノウハウの蓄積

# 関西支部 WG

## 関西における

- ・ AI技術の情報提供、普及促進
- ・ AI技術を活用した実証事業の推進
- ・ コンソーシアムの会員交流促進、新規会員募集

### 参加企業・ 団体

- 株式会社アヤハエンジニアリング ● 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社インデペンデンス ● 株式会社NTTデータ関西 ● 株式会社オービス総研
- 大阪ガス株式会社 ● 大阪商工会議所 ● オムロン株式会社
- 川崎重工業株式会社 ● 国立大学法人神戸大学 ● ジェイ・ライン株式会社
- シナジーマーケティング株式会社 ● 住友電気工業株式会社 ● ソブラ株式会社
- つるや株式会社 ● 豊田自動織機株式会社 ● バナソニック株式会社
- 森下仁丹株式会社 ● 株式会社ワイ・ディ・シー

## 活動内容

- AI技術の最新動向や先進事例、他のWGの活動等を紹介する例会の開催（年4回程度）  
※例会は、大阪商工会議所「人工知能ビジネス研究会」と共催することで、コンソーシアムの新規会員募集に役立てる
- 情報交流のためのサロンの開催（予定）
- AI実証事業を推進するためのセミナー、ワークショップ、コンテストの実施（例会に併催）
- AIフリーソフトを搭載したパソコンの利用促進（例会に併催）

## 活動コンセプト



セミナー

ワークショップ

サロン

コンテスト

AIの社会実装

### 我々が目指すAIとは？

What

"Attitude to AI"

InformationとActionの間にある行為をArtificialに行えるシステム

### AI実証事業の立ち上げ方は？

How

セミナー、ワークショップ、サロン、コンテストを通じて実践



220人が参加した関西支部WGの  
キックオフセミナー  
= 2016年11月、大阪商工会議所で